授業科目 NO. 108 地域文化論

Regional Cultures

授業の形態： 講義

単位数（時間数）： 1 単位（15 時間）

開講年次・学期： 1 年次・後期

必修・選択の別： 選択

キーワード： 生活、文化、環境、食、北陸、異文化理解

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標（GIO）

北陸地方の生活・文化・環境・社会資源の特性を食文化の観点から全国的・世界的視野で理解する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 授業目標に適した学修方法・態度を身につける。(④)
- (2) 北陸地方の食文化の特徴を指摘し、その由来を述べることができる。(③)
- (3) 北陸地方の食文化の特徴を全国的・世界的視野で比較することができる。(⑤)
- (4) 最も興味を持ったテーマについて調べてレポートを書くことができる。(④)

3 学修内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	30%
実習成績	%
レポート	30%
授業態度	40%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

定期試験は、前もって予告しておいた課題について事前に Microsoft Word でレポートの原稿を作成しておき、試験時間中に推敲して完成させる。したがって、定期試験成績とレポート成績を合わせて 60% の評価割合となる。また、授業態度については、毎回提出するコメント用紙に記す質問・意見・感想に対する評価 (5 点/1 回) を基本とし、コメント以外における不適切な態度は減点の対象となる。

5 教育担当者

科目責任者：平口 哲夫

非常勤講師 平口 哲夫

6 教科書

平口哲夫(編著) 『令和 7 年度金沢医科大学看護学部授業「地域文化論」学習資料』(電子シラバスに掲示)

7 推薦参考書

- 1) 日本鯨類研究所・日本捕鯨協会(編) 『第 1 回～第 5 回日本伝統捕鯨地域サミット開催の記録』、長門市・生月町・室戸市・下関市・太地町・日本鯨類研究所、2003～2007
- 2) マービン・ハリス(著) 『食と文化の謎』、岩波書店、1988
- 3) 巽 好幸(著) 『和食はなぜ美味しいか』、2014

8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 1 コマにつき、事前学修・事後学修として少なくとも計 180 分程度が必要である。
- 2) 電子シラバスに掲示されている授業計画に従って学習資料の該当箇所を事前に読み、問題意識を持って授業に臨むこと。
- 3) 毎回授業で配布されるコメント用紙に記した質問は、事後学習の一環として自答できるように、学習資料を熟読するとともに、学習資料以外の文献なども調べ、レポート作成に活かすこと。
- 4) 授業内容に関連した情報は、インターネットによってかなり得られるので、パソコンを利用して検索してみること。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) コメントやレポートの書き方や提出方法については、教育担当者が授業中に説明する。
- 2) 用紙に記されたコメントについては、教育担当者が添削し、評価点（1回につき5点満点）を記して返却し、必要に応じて次週の授業中に返答する。
- 3) 提出されたレポートについては、教育担当者が添削し、コメントを付して E メール添付の方法により受講生に返却する。
- 4) 返却された原稿に再提出を求めるコメントが記されていた受講生は、推敲し直した原稿を再提出する。再提出を求められなかった受講生も、コメントに記された指摘に応じて原稿を再推敲しておくこと。

10 履修上の注意事項

- 1) 推薦参考書の1は非売品であり、新たに入手することはできないが、本学図書館に全巻寄贈、そのうち第1回～第3回については各回に数冊寄贈されている。
- 2) 推薦参考書の2は市販されており、本学図書館が購入済みである。
- 3) 推薦参考書の3は市販されている。
- 4) その他の推薦参考書、特に最新の知見を記した参考書や諸情報については、授業中に紹介する。
- 5) 8回の授業中、正当な理由なく3回以上欠席すると、受験資格を失う（定期試験成績が0点となる）。
- 6) 正当な理由なく欠席すると、該当授業日のコメント用紙を提出することができないので、該当授業日のコメント（態度）評価が0点となる。
- 7) コメント用紙に「特になし」に相当することしか記していない場合は、コメント評価が0点となる。

11 オフィスアワー等

担当授業日の授業終了後、看護学部ラウンジで出席カード（兼コメント用紙）の整理作業を行っているので、授業担当者に直接質問したい受講者は、その場で質問や相談をしてもよい。また、E-mail : t-hiragu@kanazawa-med.ac.jp によるコミュニケーションは、時間や空間に制約されず、丁寧な対応ができるので、大いに推奨する。

第1学年

地域文化論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月27日(木)	4	講義	授業の概要	コメント用紙提出		平口非常勤講師
後	2	12月04日(木)	4	講義	能登真臨遺跡のイルカ漁	コメント用紙提出		平口非常勤講師
後	3	12月11日(木)	4	講義	鯨類観の多様性	コメント用紙提出		平口非常勤講師
後	4	12月18日(木)	4	講義	捕鯨と反捕鯨	コメント用紙提出		平口非常勤講師
後	5	1月08日(木)	4	講義	北陸の製塩遺跡と塩蔵食、レポートの書き方	コメント用紙提出		平口非常勤講師
後	6	1月15日(木)	4	講義	北陸の稲作と醸造食	コメント用紙提出		平口非常勤講師
後	7	1月22日(木)	4	講義	ジビエ	コメント用紙提出		平口非常勤講師
後	8(0.5)	1月29日(木)	4	講義	和食と国際交流、レポート推敲の方法	コメント用紙提出		平口非常勤講師